

平成28年12月22日

最後まで、がんばれました。 応援ありがとうございました。

校長 柳瀬充男



苦しくてもうだめだとあきらめかけた時、自分を奮い立たせてくれる力はどこから来るのでしょうか。先日のマラソン大会では、保護者の方々以外に地域の方々も大勢沿道で声援を送ってくれていました。大会終了後、その方からこんなお話を聞きました。高学年の男子二人が校門近くで、苦しくて歩いていたそうです。しかし、その人たちの前まで来た時、「こんなにみんなが応援してくれているから、最後まで走っていこう。」とあって、二人とも走り出したそうです。

私は、マラソン大会の開会式で、子ども達に2つの目標を話しました。①練習の成果を出して、自分のベストタイムを出すこと。②苦しくても最後までがんばって走り抜くこと。沿道の応援の人たちの姿を見ながら、この話を思い出して、ゴールまで走りきることができたのだと思います。苦しい時に自分を支えてくれるのは、まずは自分のやる気ですが、それと共に、周りで応援してくれる人の存在がもとても大きな支えとなるということです。私たちの周りには、応援してくれる人たちがたくさんいるということを忘れないでおきましょう。そして、新しい年も、みんなで応援し合いながら、がんばっていきましょう。